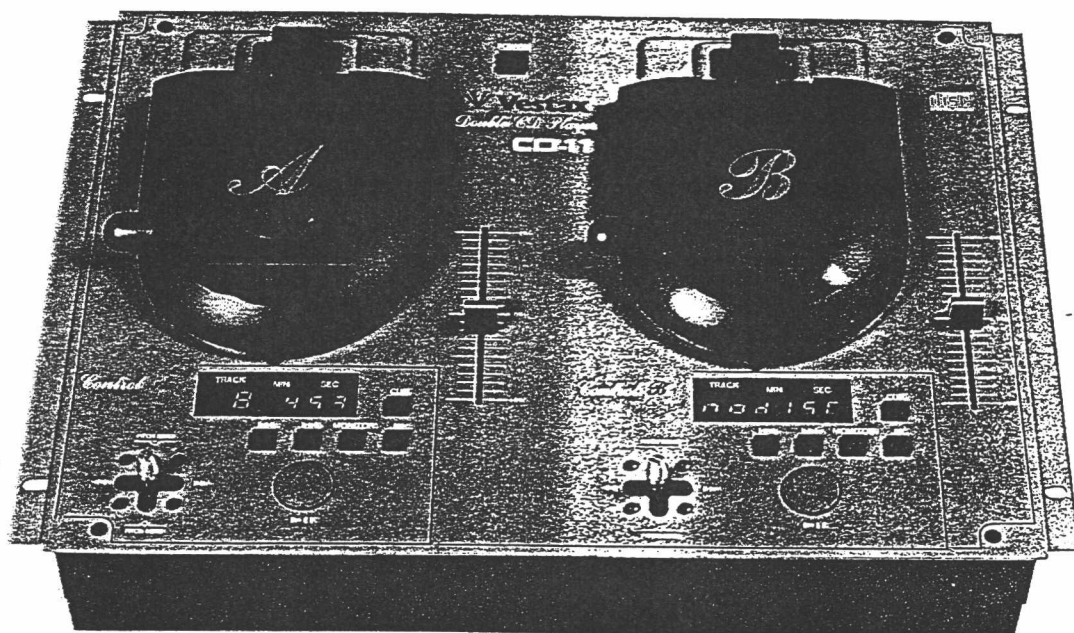


 Vestax®

CD-11

取扱説明書



ベスタクス株式会社

〒154 東京都世田谷区上馬2-37-1

電話 03-3412-7011 ファックス03-3412-7013

Printed in JAPAN

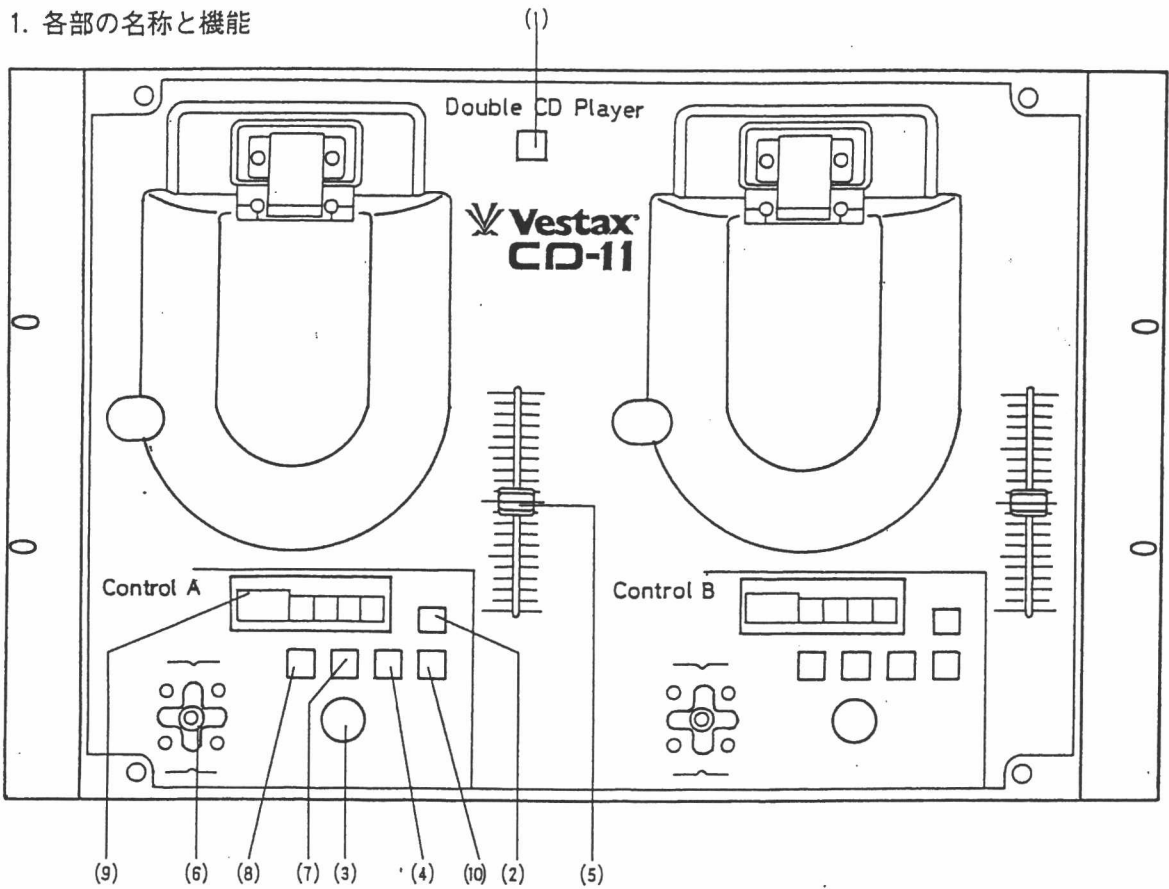
ごあいさつ

この度はVESTAX CD-11プロフェッショナル ダブルCDプレイヤーシステムをお買い上げ戴きまして誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮させるとともに、末永くご愛用頂くためにも、ご使用前にこの取扱い説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

[CD-11の特徴]

- 2台の高性能CDプレイヤーと各コントロールを1つにまとめ、使い易いトップローディングタイプにしたDJ用CDプレイヤーシステムです。
- 各CDプレイヤーで±8%までのピッチ調整が可能で、ロングストロークフェーダーコントロールにより簡単に各曲のBPMを正確に合わせる事ができます。
- スキャン、サーチ、ピッチベンドの3つの機能を素早く正確に操作できるように、スティックタイプコントローラーを採用しています。
- 操作してから実際に音が出力されるまでのタイムラグは、高性能メカニズムとオートブランクパス機能の搭載により、最小限に押さえられます。
- 重低音域の振動による音飛びを防ぐため、ダブルサスペンションシステムによる耐震設計です。
- キューポイントファンクションは、曲の途中でのプレイスタートポイントをメモリーできます。
- 瞬間的にピッチを変えられるピッチベンド機能は、2枚のブラックレコードをミックスする感覚でCDミックスする事ができます。
- 半透明カバーにより、CDの動きを確認でき、トップローディングタイプのため素早いCDチェンジが可能です。
- ラバー製コントロールボタンは、タッチ感がよく操作性に優れています。
- EIA規格19インチ8Uサイズにラックマウント可能です。

1. 各部の名称と機能



(1) POWER (電源) スイッチ

(2) CUE (キュー) ボタン

再生のスタートポイントをメモリーして呼び出す事ができるので、曲の途中の任意のフレーズから頭出しする時に使用します。

*キューリターンファンクションを行うときは、以下の手順で操作します。

- 1) NEXT/PREVIOUSボタンで使用したいフレーズのある曲を選びます。
- 2) プレイボタンを押して再生し、スティックコントローラーでスキャンして、使いたいフレーズの頭で(3)PLAY/PAUSEボタンを押してポーズ状態にし、さらに(4)MONITORボタンを押して、ポーズモニター状態にします。
- 3) スティックコントローラーを左右に動かして、使用したいフレーズのスタートポイントを正確にサーチした後、(4)MONITORボタンを押してモニター状態を解除し、(3)PLAY/PAUSEボタンを押して再生します。このとき、キューポイントがメモリーされます。再生した際にフレーズのポイントからずれていた場合は、上記の作業を繰り返して下さい。
- 4) CUEボタンを押します。キューポイントをサーチして、ポーズ状態になります。

*キューポイントのメモリーは、次のいずれかを行うと失われます。

A. 電源をOFFにする。

B. キューポイント設定後、CUEボタンを押す前にポーズとプレイの動作を行うと、設定されたメモリーはクリアされ、最後にプレイボタンを押してプレイを行ったポイントが新たにメモリーされますのでご注意ください。

C. ストップボタンを押す。

(3) PLAY/PAUSE(プレイ/ポーズ)ボタン

押しとディスクを再生しはじめ、もう一度押しと再生を一時停止します。

(4) MONITOR(モニター)ボタン

A. ポーズ状態でモニターボタンを押した場合、一時停止している部分の繰返し音を出力します。ステックコントローラーを使ってフレームサーチし、フレーズの頭出しができます。

B. モニター状態は、再度モニターボタンを押した時のみ解除されます。この解除操作を行わなければ、常に再生信号が出力されますので、誤操作のないようにご注意ください。

*一時停止中の繰返し音は、ストップボタンを押したポジションから前に一定時間戻って繰返し再生しています。その時間は、CD内側で約125ms、CD外側で約250msとなります。

(5) PITCH(ピッチ)調整フェーダー

±8%までのピッチを可変できます。

(6) STICK CONTROLLER(スティックコントローラー)
このスティックコントローラーで、3つのファンクションをコントロールします。

A.ピッチベンドファンクション<スティックアップ：マイナス方向、スティックダウン：プラス方向>
スティックの上下により、瞬間的にピッチを変化させることが出来ます。スティックがセンターポジションのときは(5)ピッチフェーダーで設定したピッチにもどります。この機能を使えば、2曲のテンポをスムーズに合わせることが出来ます。

*ピッチが(5)ピッチフェーダーで±8%各々最大に設定されている時には、変化巾が変わります。

B.スキャンファンクション<スティックレフト：逆方向、スティックライト：順方向>。
スティックの左右により、再生スピードを、4倍速から16倍速にかえることが出来ます。大まかなポイントをサーチするときに使用します。

C.サーチファンクション<スティックレフト：逆方向、スティックライト：順方向>
ポーズモニター状態の時にステックの左右により、1~70フレーム単位でサーチすることが出来ます。

*CDは1秒間に75フレームに分割して記録されています。

(7)NEXT(ネクスト)ボタン ▶▶|
次曲の曲頭にスキップするときに使用します。

(8)PREVIOUS(プレヴィアス)ボタン |◀◀
再生中の曲頭に戻すときに使用します。続けて押すと前曲の曲頭に戻ります。

(9)DISPLAY (ディスプレイ)
ディスプレイ表示は、トラックナンバーとトラックリメインが表示されます。

(10)RESET (リセット) ボタン
ディスク交換時や、CDの回転を止める時に使用します。又、エラーで止まった場合、これを押すことによって復帰します。

2. 操作方法

① 通常の再生の仕方

1. 電源スイッチを押し電源を入れます。
2. ディスクのラベル面を上にしてディスクを入れカバーを閉じます。
3. リセットボタンを押します。
(ディスクは回転し、1曲目の再生時間を読み取り、スタンバイ状態となります。)
4. プレイボタンを押します。
(1曲目から再生を開始します。)
[min secに再生中の曲の残量時間が分と秒で表示されません。]
5. 再生中に次の曲を聞く場合は ▶▶| ボタンを押します。
(再生を中断し、次の曲の始めから再生を開始します。
2曲目以上後の曲を聞く場合は ▶▶| ボタンをその曲数だけ押します。)
6. 再生を一時中断するには、プレイ/ポーズ ボタンを押します。再生を開始する場合は、再度プレイ/ポーズ ボタンを押します。
7. リセットボタンで再生が終わります。また、生曲再生が終わると自動的に1曲目のスタンバイ状態になります。
8. 再生が終わりましたら、カバーを開けCDを取り出します。

② スティック コントローラーで希望の再生位置をさがすには。

1. プレイ/ポーズ ボタンを押して再生します。
2. モニターボタンを押して、モニターモードにします。
3. 捜したい再生位置をスティックコントローラーを左右に動かしてスキャンし、大まかな位置を捜します。
4. プレイ/ポーズ ボタンを押して、ポーズモニター状態にします。このとき、スティックコントローラーは、サーチモードとなり、繰り返し音を聞きながらスティックを左右に動かして、キューポイントをサーチします。

5. モニターボタンを押して、モニターモードを解除します。
6. プレイ/ポーズ ボタンを押して再生します。このとき、キューポイントがメモリーされますので、CUEボタンを押すと、このキューポイントに戻り、ポーズ状態になります。

[注意]

CD-11はDJがより素早く曲を再生する為に、ディスクをのせるとすぐにピックアップがディスクのデータを読み込みに入ります。また、再生していない間でも、素早く曲をアクセスさせる為に常にディスクは回転しております。そのため下記のような動きをします。

1. フタを開けたままでCDをおくと、フタを閉めなくても約6秒後に回転を始めます。CDが正しくセットされていない事を確認すると“E-01”と表示しディスクは止まります。その際ピックアップがディスクのデータを読み取ろうとして“ジージー”と音を出して動きます。
2. ディスクがのっていない状態でリセットボタンを押すと、ピックアップが“ジージー”と音を出して動きます。そして約8秒後に“NO DISK”と表示します。
3. ブランクパス機能により、曲の頭ないし終わりに無信号区間があると、自動的にその部分を飛ばして再生します。その為残り時間表示がゼロになる前に、次の曲にうつる場合があります。

3. 使用上のご注意

- 本機は交流(AC)電源100V専用ですので、直流電源や他の異なる電圧の交流電源に直接つないでご使用することはできません。なお、電源周波数(50Hzまたは60Hz)の調整は不要です。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いて下さい。無理にコードを引っ張ったりして抜くとコードを傷めてしまいます。
- 水などに濡れた手でプラグを持ってコンセントに抜き差ししないで下さい。感電することがあり、大変危険です。
- ビニール等の被膜が切れたり、こすれたりして芯線が露出している電源コードをそのまま使用すると感電や火災の原因となります。また、本機内部に水等の液体や可燃物およびピン等の金属類を入れないようにご注意ください。感電や故障の原因となります。

4. 設置上のご注意

- 本機は常温(5~35℃)、通気が良く、電源電圧の変動が少なく、頑丈で平らな場所に設置して下さい。
- アルコールやシンナー等の溶剤で塗装面を拭かないで下さい。塗装が剥げる場合があります。

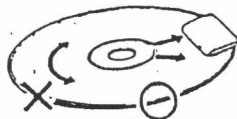
5. アフターサービスについて

- 本機には保証書を添付しております。所定事項を記入してお渡しますので、記載内容をご確認の上、大切に保管して下さい。保証書にご購入店印の無いものは無効となりますのでご注意ください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容により当社サービスセンターが修理を承ります。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、または当社サービスセンターにご相談下さい。
- 本体の保証期間は1年ですが、CDメカニズム部は実際に作動していた時間にて保証期間を設定しております。1500時間を超過した場合は、メカニズム部の修理、交換の際、弊社の判断により実費を請求させていただきます。

6. ディスクの取扱い方

- A ひびやそりのあるディスクは使用しないで下さい。
- 再生中、ディスクはプレーヤー内で高速回転します。ひび割れや変形、または接着剤等で補修されたディスクは危険ですから、絶対に使用しないで下さい。また、レコードスプレー、静電防止剤等は、ひび割れの原因となりますので使用しないで下さい。
- B お手入れ
- ディスクに指紋や汚れがついた場合でも、ディスクの信号には直接影響しません。しかし、信号記録面からの反射光が弱くなり音質が低下します。汚れがついた場合はクリーニングしてご使用下さい。クリーニングする場合には、柔らかい布を水に浸し、良く絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で水気を拭き取って下さい。ディスク内周から外周方向へ放射状にクリーニングして下さい。

円周にそっては拭かない
円周から外周方向へ軽く拭いて
ください。



- レコードスプレー、静電気防止剤等の使用はできません。また、ベンジン、シンナー等の揮発性の薬品も使用しないで下さい。

結露現象について

冬期などに本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、動作部やレンズに露がつきます。露がついたままではレーザー光による信号の読み取り再生ができません。結露の程度にもよりますが、1~2時間そのまま放置し、本機を室温に保てば露が消え、再生できるようになります。結露は、夏にクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも起こることがあります。その場合にはプレーヤーの設置場所を変えて下さい。

再生時のご注意

再生中、ディスクは高速で回転しています。このとき本機を持ち上げたり、動かしたりするとディスクに傷が付くおそれがあります。本機を動かす時には再生をやめ、ディスクを必ず取り出して下さい。

本機では、素早くボタン操作に反応するために、ディスクは収納されている状態では常に回転しております。CDメカニズムには寿命がありますので(1500時間)、ご使用にならない時は、ディスクを取り出しておくことをおすすめします。

7. トラックとポーズ区間

1. CDは光学ピックアップがディスクの中心から外側に向かってデータを読んでいます。レコード盤とは逆にディスクの中心から1曲目、2曲目……と記録されているのです。従って、例えば2曲目で音飛びがあった場合は、CDの中心側のトラックに傷、汚れがないかを確認して下さい。
2. CD内の曲の頭、または終わりに無信号区間(ポーズ区間)が設けられていることがあります。本機は、その区間を自動的にスキップする機能を搭載していますが、CDによってスキップできないものもあります。曲頭からスムーズに再生するために、ステップコントローラーとモニターボタンを使って曲頭を確認することをお勧めします。

8. サービスモードについて

本機は何らかの障害が起こった時に、異常の種類を知らせるサービスモードがプログラムされています。

ディスプレイ表示	エラーネーム	異常内容	ユーザーズチェック
E-01	フォーカスエラー	ピックアップがデータを読めません。	CDが裏返しになっていないか確認して下さい。
E-02	T.O.Cリードエラー	T.O.C情報が読めません。	CDの中心側のトラックに傷がないか確認して下さい。
E-03	ピックアップリミットエラー	ピックアップの動作位置に異常が生じました。	一度トレイをオープン/クローズして同様の症状が表れた場合はメカの異常の可能性が有ります。サービスセンターにお問い合わせ下さい。
E-04	サーチエラー	指定トラック等のサーチができません。	CDに傷、汚れがないか確認して下さい。

CD-11 SPECIFICATIONS

Type : Twin Mechanism Compact Disc Player System
Available Disc : Standard Compact Disc 12cm and 8cm

Output Level : 2.0 volt
Impedance : 100 ohm
Frequency Responce : 100Hz~20KHz ± 1 dB
Channel Separation : 80 dB
S/N Ratio : 93 dB
Harmonic Distortion : Less than 0.03%
Quantization : 16 bit linea
Sampling Frequency : 44.1 KHz at nomal speed
Error Correcting : CIRC
Mechanism Mount : Double Shock Absober